

氏名	北島義典	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	運動疫学 体力科学 公衆衛生学 健康教育学				
学位	修士（体育学）				
学歴	1987年 中京大学体育学部体育学科、1991年 中京大学大学院体育学研究科修士課程、1993年 中京大学大学院体育学研究科博士課程				
経歴	1994年(財)明治安田厚生事業団 体力医学研究所研究員、2005年同研究所副主任研究員、2011年同財団新宿健診センター学術室 室長(兼務)、2012年公立大学法人 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科 健康行動科学専攻 准教授、同大学院 保健医療福祉学研究科 博士課程前期 健康福祉科学専修 准教授、2014年 同大学院保健医療福祉学研究科 博士課程後期 准教授				
所属学会（役職）	日本運動疫学会（理事）、日本健康教育学会（理事）、日本体力医学会（評議員）、American college of sports medicine、日本公衆衛生学会、日本疫学会、日本体育学会、日本運動生理学会、日本栄養改善学会、日本健康学会、日本学校保健学会、日本ストレス学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	Incidence rate and risk factors of knee pain in community-dwelling older adults: a two-year cohort study	共同	World Confederation for Physical Therapy (WCPT) CONGRESS 2019, (Geneva, Switzerland)	○Sato S, Nakamura M, Nemoto Y, Takeda N, Maruo K, Fukuda Y, Sawada S, <u>Kitabatake Y</u> , Arao T.	2019年5月	
2	The prevalence and relevant factors of low back pain in community-dwelling independent older adults: A cross-sectional study	共同	World Confederation for Physical Therapy (WCPT) CONGRESS 2019, (Geneva, Switzerland)	○Nakamura M, Sato S, Nemoto Y, Takeda N, Maruo K, Fukuda Y, Sawada S, <u>Kitabatake Y</u> , Arao T.	2019年5月	
3	シンポジウム 高齢者の健康教育・ヘルスプロモーション	単独	第28回健康教育学会、東京	○北島義典および座長（北島義典、春山康夫）	2019年6月	
4	建設後 半世紀を過ぎた大型団地住民の家族構成と生活習慣・健康状態	共同	第78回日本公衆衛生学会総会、高知市	○北島義典、中谷直樹、延原弘章	2019年10月	
5	地域在住自立高齢者における膝痛の発生率と危険因子：2年間コホートスタディ	共同	第78回日本公衆衛生学会総会、高知市	○佐藤慎一郎、山田卓也、中村睦美、根本裕太、武田典子、丸尾和司、福田吉春、澤田 亨、北島義典、荒尾 孝	2019年10月	
6	地域在住自立高齢者における腰痛の有症率と関連因子：横断研究	共同	第78回日本公衆衛生学会総会、高知市	○中村睦美、佐藤慎一郎、山田卓也、根本裕太、武田典子、丸尾和司、福田吉春、澤田 亨、北島義典、荒尾 孝	2019年10月	
7	中山間地域の自立高齢者におけるフレイルの有症率とその特徴	共同	第78回日本公衆衛生学会総会、高知市	○山田卓也、佐藤慎一郎、中村睦美、根本裕太、武田典子、丸尾和司、福田吉春、澤田 亨、北島義典、荒尾 孝	2019年10月	
8	身体運動が睡眠中の動脈血流量に与える影響	共同	第47回埼玉県医学検査学会、さいたま市	○菅原海莉、飯島竜星、細江みずぎ、伏見もも、門岡あかり、北島義典、有竹清夏	2019年12月	
9	身体運動が覚醒中の皮膚温・頸動脈血流量に与える影響	共同	第47回埼玉県医学検査学会、さいたま市	○門岡あかり、菅原海莉、伏見もも、飯島竜星、細江みずぎ、北島義典、有竹清夏	2019年12月	

10	大学生の運動負荷に対する心機能と生活習慣との関連性	共同	第47回埼玉県医学検査学会、さいたま市	○飯島竜星、門岡あかり、菅原海莉、細江みずぎ、伏見もも、北畠 義典、有竹清夏	2019年12月
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	公益社団法人日本理学療法士協会 予防理学療法の確立を目的とした大規模臨床研究に対する研究助成		『地域自立高齢者における要介護状態への移行の実態とその予防対策に関する研究』	研究分担者	2017.12-2019.11
2	文部科学省 基盤研究 (C)		高齢者の不眠に対する認知行動療法の最適化	研究分担者	2019.4-2022.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	学部：健康科学Ⅰ	○	15		
2	大学院 健康長寿論（博士後期課程）		3		
3	大学院 加齢神経運動機能論（博士後期課程）		3		
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	学部：健康行動科学演習	○	15	(1)調査票のデータ化(2)エクセルの使い方(3)spssでの集計(4)spssでの解析(5)グラフの作り方(6)データ入力(7)データチェック(8)論理チェック(9)集計と報告書作成(10)分析データのまとめ ※グループ作業を通じて協力の体制づくりを意識させる工夫をした。	
2	学部：課題別演習Ⅰ・Ⅱ		15	卒業研究に関する研究計画書の作成方法（研究倫理、エビデンスレベル、統計解析、論文の書き方）	
3	大学院 健康長寿演習（博士後期課程）		3	地域での健康づくりに関する、介入方法（プログラム開発）、評価方法、住民と行政との協働の作り方を実例をあげて解説。	

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	学部：健康行動科学臨地実習	○	15	(1-3) 課題・問題の抽出および対策案の作成、(4-12)プログラム作成・リハーサル、(13-15)住民に対する健康支援プログラムの実施。 ※住民との交流に関心が持てるように工夫した（わかりやすいPPTづくり等）。
2	学部：健康生活測定		4	日常生活の身体活動量と栄養摂取量を測定し、出納の関係を学び、自分の課題を見つける。 ※身近にある健康指標に対する意識や活用法を伝える。
3	IPW実習		15	本学で学んできたヒューマンケア視点・姿勢に基づき、チームメンバーの専門性と多様性の相互理解を通して、専門的な知識や技術を活用し、リフレクションを行い、チーム形成と協働の実践の方法を身につける。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4～2020.3	主指導 4名	副指導 名
2	博士前期課程（修士論文）	2019.4～2020.3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 3名
3			主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	香港理工大学 講義（英語）	2019.8	身体活動（身体機能）とうつとの関連	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	健康運動指導士会養成講座	公財)健康・体力づくり事業財団	体力測定と評価 介護予防に関連する体力測定法とその評価	2019年6月
2	第22回都留いきいきフェスティバル2019	都留市教育委員会	都留市におけるこれからの介護予防『いーばしょ』 一若年者(未来の高齢者)から現役高齢者まで一	2019年9月
3	健康管理実務専科	警察庁長官官房給与厚生課	運動における生活習慣病対策	2019年11月
4	健康運動指導士会養成講座	公財)健康・体力づくり事業財団	体力測定と評価 介護予防に関連する体力測定法とその評価	2019年11月
5	まちだ市民大学HATS「こころとからだの健康学」	まちだ市教育委員会	シニア世代の不眠 ～自分の睡眠をふりかえろう！～	2019年12月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	春日部市健康づくり推進審議会	委員および議長		2019年4月～2020年9月
2	春日部市高齢者保健福祉計画等推進審議会	委員および議長		2019年4月～2021年3月
3	武里団地ささえあいの会	委員		2018年4月～現在に至る
4	都留市セーフコミュニティ	外傷サーベイランス委員会委員		2019年11月～現在に至る
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし	日本運動疫学会	査読 運動疫学研究	2019年5月
2	該当なし	第28回日本健康教育学会大会事務局	第28回 健康教育学会 運営委員	2019年6月
3	該当なし	日本健康教育学会	査読 健康教育学会誌	2019年7月
4	該当なし	日本健康教育学会	査読 健康教育学会誌	2019年9月
5	該当なし	日本健康教育学会	査読 健康教育学会誌	2019年9月
6	該当なし	日本体力医学会	査読 体力科学	2019年10月
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター委員		2019年4月～2020年3月
2	学長指定プロジェクトへの関与	IRプロジェクト		2019年4月～2019年11月
3	学科等における委員会等	大学院 教務委員会 委員		2019年4月～2020年3月
4	学生支援	D's bar 顧問		2019年4月～2020年3月
5	大学広報活動	オープンキャンパス 授業紹介		2019年6月、8月
6	大学広報活動	埼玉県立大学保健医療福祉お仕事GUIDE BOOK 「みんなの健康を支える仕事」の紹介		2019年10月～2020年3月
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				